

①調査結果 (07.04.23)

調査位置図



概要

被災度応急判定評（財）土木研究センター被災度報告書）により判定した結果、今回調査した84件全ては損傷ランクⅠ～Ⅱに留まっていることが確認されました。

判定結果	(件)			
	損傷ランク	震度6強	震度6弱	震度5強
Ⅰ～Ⅱ	56	4	9	15
Ⅲ～Ⅴ	0	0	0	0
Ⅵ	0	0	0	0

- Ⅰ 変形・損傷ナシ
- Ⅱ 部分的に大きな変形・損傷をしたが、構造物の安定性に大きく影響しない
- Ⅲ 全体が変形したが、構造物の安定性に大きく影響しない
- Ⅳ 部分的に変形・損傷し安定性は損なわれたが、構造物としての機能は当面可能
- Ⅴ 比較的に大きな変形・損傷をしたが、構造物としての機能は当面維持可能
- Ⅵ 完全に崩壊または大変形し、構造物としての機能を有していない

調査現場状況

* 震央より10Km 圏内



損傷なし



損傷なし

* 震央より約13kmの新型パネル使用現場（スーパーテールアルメ）



損傷なし



損傷なし

* 震央より約17km、穴水付近



損傷なし



損傷なし